

# 小中野公民館の改築

## 事業概要

小中野公民館及び小中野コミュニティセンターを、従前の社会教育施設としての機能に加え、地震災害等発生時の避難所機能及び最大クラスの津波発生時の津波避難ビル機能を有する防災拠点施設として改築整備

### ➤ 施設概要（平成26年6月供用開始）

- ①建設場所 : 八戸市小中野五丁目2-17 (敷地面積2,145.95 m<sup>2</sup>)
- ②想定収容者数 : 1,100人
- ③構造 : 鉄筋コンクリート造3階建て（一部PH階）
- ④避難階(3階)床面高さ : 9.95 m (浸水深約5.0 m)
- ⑤延床面積 : 1,970.90 m<sup>2</sup> (避難スペース1,100 m<sup>2</sup>、その他会議室、備蓄室等)



階	施設機能
屋上	発電機室
3階	大ホール、用具庫、備蓄室、トイレ
2階	事務室、会議室、小ホール、調理室、和室、多目的トイレ
1階	風除室、玄関ホール、避難階段、駐車場(32台)

# 八戸市津波防災センターの整備

## 事業概要

沼館地区の一部において、最大クラスの津波発生時に避難困難者を緊急・一時的に避難させる施設として整備（平常時は防災に係る研修等に使用）

### ➤ 施設概要（平成29年5月供用開始）

- ① 建設場所 : 沼館四丁目6-19（敷地面積3,265.14㎡）
- ② 想定収容者数 : 877人
- ③ 構造 : 鉄筋コンクリート造3階建て
- ④ 避難階(2階)床面高さ : 10.96m（浸水深6.96m+余裕高4.0m）
- ⑤ 延床面積 : 約1,500㎡（避難スペース877㎡、その他調理室、備蓄庫等）



# 新大橋整備事業

## 事業概要

一級河川馬淵川に昭和30年に架設され、以来約60年が経過し、床版が腐食するなど老朽化が著しく、また、橋脚数が多く河積阻害の基準を満たしていない新大橋の架け替え整備

- ①路線名：市道沼館小田線
- ②延長：720m(うち新大橋300m)
- ③幅員：現況 9.0m ⇒ 整備後 11.5m
- ④施工期間：H30～R7(8年間)



当初計画を見直し、  
2年間短縮

## ◆スケジュール

H25年度～28年度

橋梁健全度調査

橋梁・道路詳細設計

H29年度

関係機関協議

交通対策実施計画作成

H30年度

交通対策工事

H31 (R1) 年度～

既設橋撤去工事

新橋架設工事

## 位置図

